

わが家の避難先

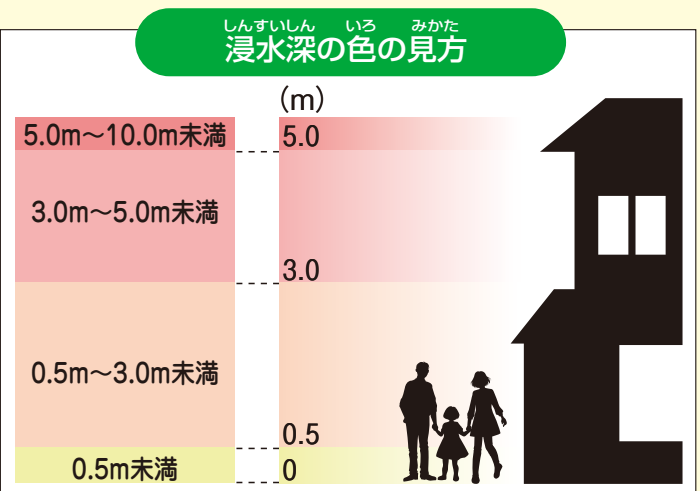
避難所の名前

避難所一覧表

施設名	住所	電話
高平小学校	下里172	569-0142
高平ふるさと交流センター	布木298	569-1811

洪水浸水想定区域について

- 洪水浸水想定区域は、兵庫県によって指定、公表されたもので、大雨によって河川堤防が決壊、又は溢水が発生した場合に浸水することが想定される区域と深さを示しています。



- 当ハザードマップに示す洪水浸水想定区域の算定に用いられた雨量(想定最大規模降雨)は以下の通りです。  
武庫川流域：511mm/24時間  
東条川流域：788mm/2日
- 雨の降り方や土地の状態、排水路等があふれることにより、洪水浸水想定区域以外でも浸水するおそれがありますので、十分な注意が必要です。

ハザードマップさんだ

令和2年7月  
改訂版

このマップは、兵庫県による被害想定(2020年7月時点)に基づいて作成しています。兵庫県による指定状況は、兵庫県 CG ハザードマップ (<http://www.hazardmap.pref.hyogo.jp>) にてご確認ください。

三田市では、市民のみなさまに災害に関する情報を提供し、日ごろからの備えに役立てていただくこと等を目的として、「ハザードマップさんだ」を作成しています。

令和2年7月、以下のとおり改訂を行いましたので、ご確認ください。

【主な改訂内容】

- 三田、広野、本庄地区において、兵庫県により新たに指定された土砂災害特別警戒区域80箇所(急傾斜地52箇所、土石流28箇所)、土砂災害警戒区域(急傾斜地)1箇所、区域変更のあった土砂災害警戒区域9箇所(急傾斜地7箇所、土石流2箇所)をマップに反映しました。
- 青野ダム記念館の廃止(令和2年7月1日)に伴い、市指定避難所「青野ダム記念館」を削除しました(風水害時等の一時的な避難のための代替施設として、下青野公園管理事務所をご利用いただけます)。

Web版ハザードマップさんだ

もご利用ください。



Web版ハザードマップさんだでは、スマートフォン、タブレットやパソコンなどで、目的の場所を簡単に詳しく表示できます。スマートフォンでは、位置情報を利用して、現在地周辺の災害想定や最寄の避難所を簡単に確認できます。ブックマークやショートカットアイコンに登録してご利用ください。



日本語版 英語版 中国語版

市民のみなさまにお願いしたいこと ～日ごろからの災害への備え～

1

家族で避難場所を決め、安全に避難できる道を確認しておきましょう。

2

非常持出品をまとめておきましょう。

非常持出品チェックリスト

- 水・非常食(3日～7日分)
- 貴重品(現金、通帳、印鑑)
- 衣料品(衣類、下着、毛布、タオル)
- ラジオ、懐中電灯、電池
- 卓上コンロ、ライター、マッチ
- 薬、ばんそうこう
- 日用品(ティッシュ、ラップ)
- 衛生用品(マスク、体温計等)

3

屋根や外壁の事前点検や補修をしましょう。

チェック項目

- 屋根瓦のずれ
- 雨どいのつまり
- テレビアンテナが不安定でないか
- ブロック塀のひび割れなど

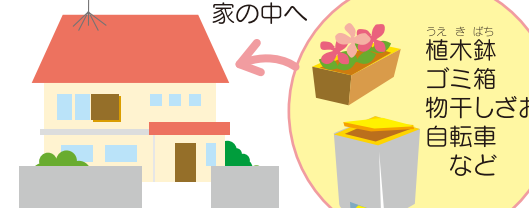
強い雨や風を感じたら…どうしたらいいの？

1

ラジオ・テレビなどで気象情報を確認し、避難の準備を始めましょう。

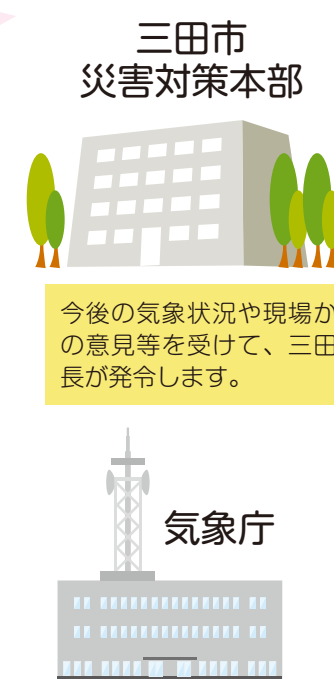
2

飛ばされやすいものは、屋内にのけるか、固定しておきましょう。



※危険を感じたら、自主避難もできます。市役所にご連絡ください。 TEL:563-1111

避難情報の発信



三田市災害対策本部が発令する避難情報は、最新の気象・地震関連情報の調べ方 <http://www.jma-net.go.jp/kobe-c/> から確認できます。

警戒レベル	避難情報等	どうしたらいいの
警戒レベル5	災害発生情報	すでに災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動をとってください。
警戒レベル4	避難指示(緊急)	ただちに指定された避難場所か屋内の安全な場所に避難してください。
警戒レベル4	避難警告	人的被害の発生する可能性が明らかに高まった状況です。指定された避難場所か屋内の安全な場所に避難してください。避難の際は、浸水箇所や土砂災害に十分注意してください。
警戒レベル3	避難準備・高齢者等避難開始	避難に時間を要する方(高齢者、体の不自由な方など)、その支援者は避難を開始してください。その他の方も情報の収集や持ち出しの準備、避難場所の確認、避難の準備をしてください。
警戒レベル2	注意報	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。
警戒レベル1	早期注意情報	災害への心構えを高めましょう。

市民のみなさま

- 防災行政無線の放送 自治会への連絡
- テレビ、ラジオ、新聞 インターネット
- 広報車、消防団による 巡回、アナウンス
- 三田市ホームページ <http://www.city.sanda.lg.jp/>
- エリアメール・緊急速報メール さんだ防災・防犯メールによる配信

※情報は積極的に入手して行動しましょう。※情報を入手しにくい方には家族や近所の方が声をかけましょう。

避難の方法 浸水や土砂災害が発生する前に早めに避難してください!

避難所へ避難する場合

- 車は使わず、歩いて避難しましょう。
- 川沿いや橋、がけ下などは危険ですので、近くを通らないでください。
- 動きやすい服装で、二人以上で避難しましょう。
- 外に出る前に火の始末、戸締りを忘れず。電気ブレーカーも落としましょう。

屋内で避難する場合

●水害の場合  
周りで浸水が始まった時は近くの高所や建物の2階以上に避難しましょう。

●土砂災害の場合  
がけ、山から離れた側の2階以上の部屋に避難しましょう。

「特別警戒」とは  
気象庁は、大雨、地震などにより重大な災害の起こるおそれがある時に、警戒を発令して警戒を呼びかけています。これに加え、平成25年8月より、警戒の発表基準をはるかに超える豪雨等が予想される場合、「特別警戒」が発令されるようになりました。

特別警戒が出た場合、お住まいの地域は数十年に一度しか見られないような非常に危険な状況にあります。周囲の状況や市から発表される避難情報などの情報に留意し、ただちに命を守るための行動をとってください。

避難行動要支援者支援制度に登録を!!

災害時に何らかの手助けや支援を希望される場合は、「三田市避難行動要支援者支援制度」へのご登録をお願いいたします。

災害が起きたとき、自らの身の安全を確保したり、避難情報を入手したりすることが困難な高齢者や障がいのある方などを対象に避難行動要支援者名簿を作成し、ご本人の同意を得て、平常時から地域と共有し、災害時に地域で助け合える仕組みづくりの支援を行っています。

高齢者などの避難に協力を!

近所にお住まいの高齢者や病人、障がいのある方などをあらかじめ把握し、災害時には声をかけあい、何人かで一緒に避難しましょう。またそういった地域ぐるみでのくみりや日頃から地域で話し合ってください。

このマップについてのお問い合わせ先

三田市役所 危機管理課  
TEL 559-0057  
FAX 559-1254  
E-mail kikikanri@city.sanda.lg.jp

災害時帰宅支援ステーション  
～災害時の帰宅困難者を支援します～  
コンビニエンスストアなど、このステッカーのある店舗では、災害で交通機関が不通となった場合に、徒歩で帰宅される方へ「水道水」「トイレ」「道路などの情報」を提供します。

土砂災害警戒情報

●どんな情報?  
土砂災害警戒情報は、大雨による土砂災害のおそれが高まった時に兵庫県と神戸地方気象台との共同で発表される防災情報です。

●いつ発表される?  
大雨警戒が発令された後に、土砂災害の危険性がさらに高まった時に発表されます。情報はテレビ、ラジオ、インターネットのほか、さんだ防災・防犯メールから入手することができます。

●発表された場合どうすればいい?  
降雨の状況や周辺の状況を確認し、土砂災害発生危険性を感じた場合には、速やかに避難行動に移るようしてください。また、避難勧告などが発令された場合は、速やかに避難所など安全な場所に避難してください。

土砂災害警戒区域(通称:イエローゾーン)

土砂災害警戒区域とは、急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域です。

急傾斜地の崩壊  
イ 傾斜度が30度以上で高さ5m以上の区域  
ロ 急傾斜地の先端から水平距離が10m以内の区域  
ハ 急傾斜地の下端から急傾斜地高さの2倍(50mを超える場合は50m)以内の区域

土砂災害特別警戒区域(通称:レッドゾーン)

土砂災害警戒区域のうち、土砂災害が発生した場合に、建築物に損壊が生じ、住民等の生命または身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる区域です。

土砂流  
イ 土砂流の発生のおそれのある流域において、扇頂部から下流で勾配が2度以上の区域

地滑り  
イ 地滑り区域(地滑りしている区域または地滑りする恐れのある区域)  
ロ 地滑り区域下端から、地滑り地域の長さに対応する距離(250mを超える場合は250m)の範囲内の区域

雨の強さと降り方(1時間降雨量) 雨が降り出したら雨の様子をチェックするとともに、土砂災害の前ぶれにも十分気をつけてください。

雨の強さと降り方(1時間降雨量)

- 20～30mm未満 強い雨
- 30～50mm未満 激しい雨
- 50～80mm未満 非常に激しい雨
- 80mm以上 猛烈な雨

土砂災害の前ぶれ

大雨のときは地盤がゆるみ、土砂災害の危険性も高まります。次のような状態に気づいたら、すみやかに避難しましょう。また、市役所に通報してください。(TEL:563-1111)

- がけに亀割が入る
- 川が濁ったり、流木がまざり始める
- 雨が降り続けているのに、川の水位が下がる
- 斜面から水が噴き出る、がけからでる水が濁る
- 斜面にひび割れができる
- 地鳴りの音が聞こえてくる